

栄養やまなし No. 110

公益社団法人山梨県栄養士会 〒400-0805甲府市酒折一丁目1-11 ☎055-222-8593 令和2年1月



「おせち料理」写真提供:介護老人施設コスモ

1～5月の行事予定

特定保健指導従事者養成並びにスキルアップ研修会	1月23日(木)ぴゅあ総合
訪問栄養食事指導従事希望	
管理栄養士研修会(含むスキルアップ)	1月25日(土)ホテルうかい
生涯教育研修会	2月1日(土)ぴゅあ総合
山梨県栄養学術研究会	2月29日(土)ぴゅあ総合



山梨県栄養士会
ホームページQRコード

目

次

新年のご挨拶

会長 田草川憲男	2
----------	---

これからの研修会等の予定

・特定保健指導従事者養成並びにスキルアップ研修会	3
・訪問栄養食事指導従事希望管理栄養士研修会	3
・生涯教育研修会(令和元年度 第7回)	3
・令和元年度 山梨県栄養学術研究会	3
・第34回管理栄養士国家試験	3
・山梨県栄養学術研究会発表要旨	4

日本栄養士会会長表彰受賞おめでとうございます

お知らせ

・栄養士会のWEBサービスを利用しましょう	7
-----------------------	---

各種事業・研修会等実施のようす

・歯の衛生週間に伴う栄養相談の実施状況	8
・食育推進全国大会in山梨での取り組み	9
・食生活と植物油栄養に関する講習会を開催	9
・いきいき山梨ねりんピックでの取り組み	9
・JDA-DATリーダースキルアップ、スタッフ育成 並びに公衆衛生事業部員対象の研修会を開催	9
・県民の日記念行事での栄養相談の取り組み	9
・第35回山梨県歯科保健のつどいでの取り組み	9
・すこやか山梨21推進大会に参加	9
・県栄養管理研修会を実施	9

厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます

山梨県知事表彰受賞おめでとうございます

「会員の声」

職域事業部のコーナー

学校健康教育事業部	14
公衆衛生事業部	14
研究教育事業部	14
勤労者支援事業部	15
地域活動事業部	15
医療事業部	15
福祉事業部	16

栄養ケアプロセスにおける栄養診断

在宅多職連携の活動の中で管理栄養士が出来たこと

「食育SAT(サット)システム」による

パソコン栄養診断の導入による食生活相談が人気です

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

・公益社団法人 山梨県栄養士会役員一同	23
・公益社団法人 山梨県栄養士会賛助会員	24

事務局からのご案内



年頭にあたって フレイル予防は食生活のチェックから ～管理栄養士・栄養士の介入が求められています～

公益社団法人 山梨県栄養士会会長 田草川 憲男

県や市町村において、フレイル予防事業が進みつつあります。

フレイルチェックとして、太もものふくらはぎの太さを計測したり、アンケート（栄養・口腔・運動・社会性）などからその徴候をチェックするものです。これらに関心を持って頂き、フレイル予防につなげていけば、健康寿命の延伸にも役立つことであります。

今や社会はこれらに関心があるのです。だから我々は、これに関わらないといけないうのです。

フレイル予防には、栄養（食・口腔機能）・運動・社会参加が大切だと終わっています。（東京大学高齢社会総合研究機構）まさに、管理栄養士・栄養士の介入が求められています。管理栄養士・栄養士は自らの現在の立場（業務・職場・仕事）の中で、どんなことで・どのように、関わるができるか考えて見ましょう。

現在、フレイル予防では、運動・機能訓練分野の専門職が食事指導も含めて、活躍しています。

高齢者の低栄養（やせ過ぎ）につきましては、エネルギーやたんぱく質の摂取不足が影響していると言われています（運動・訓練の前に、その運動を支える体力をつけるための食事が大切です）。

対象者に対して、「エネルギーやたんぱく質を積極的に摂りましょう」「肉や魚・カロリーをたくさん取りましょう」では、何をどのようにどれくらい食べたら良いのかわかりません。

管理栄養士・栄養士ができるのは、対象者の日常生活をアセスメントして、「どんな食材をどのくらい、どのように調理したら、食べられるようになるのかを個別に支援することです」

また、「栄養補助食品」などの使用について可能な方には、提案することもできます。

なお、各職域事業部では、県民の健康づくりや会員の業務向上のための事業を実施されておりますが、本会でも今 特に重点的に取り組んでいる事業は以下のとおりです。

- ・在宅訪問栄養食事指導事業（低栄養・病態栄養指導）
- ・診療所での「外来訪問栄養食事指導」（疾病の発症予防と重症化予防）
- ・市町村地域包括支援センター等での「地域ケア個別会議への管理栄養士の参画」促進
- ・地域高齢者の低栄養予防等食支援による「介護予防事業」・フレイル予防の普及
- ・特定保健指導事業（健康保険組合・国民健康保険・共済組合等）
- ・スポーツ栄養の推進（トップアスリート・スポーツクラブ・スポーツ団体等への普及）
- ・JDA-DAT（災害支援チーム）リーダー並びにスタッフの養成・教育 など



「第14回食育推進全国大会 in やまなし」山梨県栄養士会ブース前で（令和元年6月29～30日）
前列左から、井上日本栄養士連盟会長・渡邊山梨県支部長、山東昭子参議院議員（栄養士議員連盟会長）、田草川会長

これからの研修会等の予定

特定保健指導従事者養成並びにスキルアップ研修会

と き 令和2年1月23日（木）

13：30～

ところ ぴゅあ総合

内 容

講演1「特定健診・特定保健指導とは」

講師 山梨県栄養士会 会長 田草川憲男

講演2「山梨県栄養士会における特定保健指導の
仕組み・流れ・資料解説」

講師 山梨県栄養士会 事務局 沼倉智華子

講演3「特定保健指導の困難事例のテクニック」

講師 山梨県栄養士会 副会長 深澤幸子

説明「2月実施の特定保健指導についての注意点」

訪問栄養食事指導従事希望管理栄養士研修会

と き 令和2年1月25日（土）

13：00～16：30

ところ ホテルうかい（笛吹市石和町市部307）

内 容

講演1「訪問栄養食事指導を進めるためのシステム
について～山梨県栄養士会としての取組～」

講師 山梨県栄養士会 会長 田草川憲男

講演2「訪問栄養食事指導を経験して伝えたい事」

講師 山梨県栄養士会 副会長 深澤幸子

講演3「在宅医療における管理栄養士が心掛けな
なければならないこと」

講師 あすか在宅クリニック

院長 高添あすか 先生



生涯教育研修会（令和元年度 第7回目）

と き 令和2年2月1日（土）

10：00～15：40

ところ ぴゅあ総合 中研修室

内 容

講演 10：00～11：30

演題「山梨の郷土食～発祥と歴史・伝承の料理の
研究に関わって～」

講師 管理栄養士 依田萬代 先生

講演 12：30～15：40

演題 「『健康な食事・食環境』認証制度
～スマートミールとは～」

講師 西洋フード・コンパスグループ(株)

グループ営業開発部門プロボサール部長

管理栄養士 佐藤愛香 先生

講演 14：10～15：40

演題「食物アレルギーのの理解と対応
～最新情報をふまえて～」

講師 山梨厚生病院 医師 池田久剛 先生

令和元年度山梨県栄養学術研究会

と き 令和2年 2月29日（土）

12：20～16：30

ところ ぴゅあ総合 大研修室

内 容

12：30～14：40

口頭発表 各事業部より6題

座長 山梨学院大学健康栄養学部

教授 藤井 まさ子

14：45～16：30

示説（ポスター）発表10題

（示説見学は14：00～）

座長A 山梨学院短期大学

教授 中川 裕子

座長B 山梨大学健康栄養学部

助教 古閑 美奈子

第34回管理栄養士国家試験

試 験 日 令和2年3月1日（日）

願書受付日 令和元年12月2日（月）
～12月13日（金）

厚生労働省より、受験要領・願書が山梨県栄養士会事務局に届いています。必要の方は、郵送料として切手210円を同封して山梨県栄養士会に申込んで下さい。希望者に郵送いたします。

学校教育事業部 残食率から考える学校給食の実態と課題

南アルプス市立大明小学校 青柳 里佳

本給食センターは、約4200食と県内でもトップレベルに規模の大きな給食センターである。給食では栄養価の整った食事を提供しているが、児童・生徒が実際に提供した量を食べているかは定かではない。そこで、残食量を計量し、残食率を求め、その傾向を分析した。その結果、和食よりも洋食のほうが、魚よりも肉のほうが残食率が低いことがわかった。この他、残食率から見て取れる給食の実態や課題を考察した。

公衆衛生事業部 富士・東部地域の乳幼児歯科保健対策の推進に向けて

富士・東部保健福祉事務所（富士・東部保健所） 渡邊 瑞穂

保健所管理栄養士の業務は多岐にわたり、公衆衛生専門職として、栄養改善業務のほかに歯科保健対策も担当している。母子保健統計より乳幼児う歯保有率は当保健所管内が一貫して高い傾向にあり、他管内と地域差があることがわっているが、その原因の特定は非常に難しい。保健所では、市町村での歯科保健事業がより効果的に行えるように支援するため、様々な側面からの情報を整理し、市町村担当者とは今後の対策について検討する必要があると考え、昨年度から今年度にかけて取り組んだことについて報告する。

研究教育事業部 サマーキャンプ中の平均血糖値と関連する1型糖尿病患児の特徴の検討

青木慎悟¹、関戸元恵¹、岡本裕子¹¹山梨学院短期大学 食物栄養科

1型糖尿病患児を対象としたサマーキャンプが全国的に行われている。本研究では、キャンプ中のより適切な血糖管理を実現するための、基礎的なデータを得ることを目的とし、キャンプ中の患児達（20名）の平均血糖値と関連する因子の検討を行った。その結果、キャンプ中の平均血糖値は、年齢、キャンプ中に測定したHbA1c、キャンプ中の補食摂取量と関連していた。比較的少人数を対象とした研究のため、今後も継続的な検討が必要である。（198/200文字）

地域活動事業部 「令和元年度出前栄養相談事業の報告並びにアンケート集計と分析結果」

地域活動事業部 七澤 直子、望月あゆみ

毎年、地域活動事業部では出前栄養相談事業として、児童館において児童または乳幼児とその保護者を対象に食育活動を実施している。

今年度も「なんでも食べる元気な子」をテーマに8市町村29児童館38回の開催となった。

昨年に引き続き「塩山式手ばかり」「料理カード」を活用してバランスの取れた食事と適量の大切な事、また減塩の大切さを伝え自分もできる減塩の方法を理解してもらう事を目的とした。今年度は糖分媒体を活用して水分補給について正しく理解してもらう事を加え実施した。

担当する部会員には統一した媒体、配布資料を使った内容での事前研修を行った。対象者へ朝食に関する調査、教室後の理解度などのアンケート集計結果を発表する。

医療事業部 病棟における管理栄養士の役割について

峡南病院 飯島 令子

当院では、栄養科の仕事内容を、「事務所及び厨房業務」と「病棟業務」に分け、それぞれを2名の管理栄養士が1ヵ月交代で行ってきた。

特に病棟業務について、他職種から「病棟配置の管理栄養士は必要！」と実感してもらうために。管理栄養士の病棟での役割や他職種との連携、患者さんとの関わりについて、日々の取り組みを紹介する。また、他職種からの評価として、病棟配置の管理栄養士に対するアンケートを実施。その集計結果について、現状とこれからの課題を踏まえて発表する。

福祉事業部 介護老人保健施設の管理栄養士が在宅復帰支援として出来ること

山梨ライフケア・ホーム 渡邊 紀子

介護老人保健施設である当施設では、平成30年度の介護保険制度の改定により在宅復帰率が向上した。その中で食事面での課題も多く見え、既存の栄養食事支援に加え、在宅復帰に向けて一歩踏み込んだ支援の必要性を感じた。そこで今回、在宅復帰される利用者様や御家族様の不安が軽減し、またその後の生活もお元気に豊かに過ごす事が出来る事を目的として、新たに在宅復帰支援を強化した事例を報告する。

学校健康教育学部 特別支援学校における食に関する指導の取り組み わかりやすい指導に向けて媒体作成の工夫

やまびこ支援学校 久保田佑子

障害のある児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、特別支援学校では食育の推進に取り組んでいる。

今年度は、児童生徒の実態に合わせた指導を行うための媒体を作成し、「知識、技能」「思考力、判断力」「学びに向かう力」を養い、興味を持って知識を深められることを目的とした。飲み物に含まれる砂糖の量を示した媒体と、おやつに含まれる砂糖の量を示した媒体を用いて給食の時間等に指導を行った。また、保護者向けのおたよりも作成したので報告する。

公衆衛生事業部 高校生における学校がある日とない日での食習慣の比較分析

北杜市役所 堀内真理子

若い世代から健全な食生活を確立することは、生活習慣病を予防するためにも重要と言える。しかし、食に関する知識や調理技術が少ないために、高校卒業後に進学や就職で一人暮らしを始め、それを期に食習慣が乱れるというケースは多い。また、高校では給食の提供が無いため1日の食事内容が個々によって大きく異なり、部活動の有無や誰が食事の用意を行うかなどが影響していると考えられる。さらに、それらは学校がある日とない日においても違いがあり、学校がない日は欠食率の増加などが想定される。そのため、アンケート調査による比較分析を行い、実態や課題を明確にすることで、高校生のうちに食に関する必要な知識や調理技術を伝える効果的な取組につなげることとする。

地域活動事業部 元気食育教室を実施して

地域活動事業部 平川 望美

地域活動事業部では月に1度、甲府市保健センターの健康談話室にて「元気食育教室」という事業に以前より携わっている。これは、乳幼児とその保護者を対象に離乳食や幼児食の講話を行い、希望者には個別相談も行っている。個別相談の件数は増加傾向にあり、内容も様々である。講話では毎月テーマを設け甲府市の広報誌にて案内している。また、食事に関する悩み事のアンケートも行っている。

今回は実施報告とアンケート結果及び個別相談の内容を基にそこから見えてくるものは何なのかについて発表する。

医療事業部 栄養管理部の現状と医療安全への取り組み

山梨大学病院 小林 貴子

給食形態は、直営・一部委託。業務内容として、①給食管理「入院時食事療養費Ⅰ」 ②入院基本料「栄養管理体制」、③外来入院患者への栄養指導、④医療チームへの参画、⑤実習生研修生の教育、⑥栄養管理に関する調査統計など多岐にわたる。

安全な食事の提供への取り組みとして、食物アレルギー患者への対応・禁忌食物への対応・検査値(カリウム等)より献立制限への対応・患者間違いの防止・異物混入防止・誤配膳防止のため、別献立の作成・別献立の調理・複数回による配膳確認などを日々、入院院が激しい高度急性期の病院において毎食、シームレスで実施している。

福祉事業部（児童） 食を通じて豊かな人間性を育む

宮前保育園 池田 朱里

乳幼児の発育における要素を大きく3つに分けて取り上げると『頭・体・心』となる。給食は、その3つの要素それぞれに働きかけるが、特に重視すべき点は、身体をつくる要素であるということだ。まさに“食”。さらに『健康な体を維持する』という目的に対しては、“食”だけではなく、食材・習慣・嗜好・食べる場・など“食”に関する事象いわゆる“食事”の質が影響してくると考えている。

宮前保育園の給食は、その目的を達成するために『食の安心・安全』をベースに食品添加物を排除し、有期野菜や無添加調味料などを使用した手作りの給食づくりを行っている。そこから得られるベネフィットとして、乳幼時期は、味覚の臨界期であり、食品添加物に頼ることなく、素材そのものの味を知ることと健全な味覚形成を獲得できる。また、正しい食の選択を知ることにより、正しい食の継承にもなり得る。“現在”だけでなく、“未来”を見据えた給食づくりをしている。

昨今、食課題が目まぐるしく変化し、その1つに加工食品に支出の増加がある。つまり、家庭の味というものが薄れてしまっているのではないかと考える。だからこそ素材そのものを大切にしたい食事が大切である。

乳幼児期の食生活は、生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むためのものである。食課題と向き合い、保育園給食から園児や子育て世代に向けて食を営む力を支援している。

研究教育事業部

山梨県民の健康・栄養に関する研究（第1報） —成人男女における食塩摂取量と食品・ 料理の摂取頻度との関連—

山梨学院大学 健康栄養学部 立花 千鈴 深澤由香理
古閑美奈子

要旨：山梨県民の食塩摂取量の現状は、男性の80.0％、女性81.3％が食事摂取基準の目標量を超えている。本研究では、食塩摂取量と食品・料理の摂取頻度との関連を明らかにすることを目的とした。男女ともに食塩摂取量と関連がみられたのは麺類の汁であった。男性のみに関連がみられたのは魚卵、肉加工品、梅干しであり、女性のみに関連がみられたのは魚の塩蔵品、野菜料理、漬物、野菜の多い汁物であった。減塩指導を行う際には、性別による食習慣の違いも考慮することが重要である。

山梨県民の健康・栄養に関する研究（第2報） —中・高校生の体格と生活習慣の関連—

山梨学院大学 健康栄養学部 笠原 理恵 北村 菜緒
古閑美奈子

要旨：本研究では、男女別に中学生・高校生の生活習慣と体格の関連を検討した。体格によって有意な差がみられた生活習慣は、中学生男子では、夕食のバランス、夕食時の食欲、運動の好き嫌いであり、中学生女子では朝食摂取頻度、運動部所属であった。高校生男子では、テレビ・ゲーム・携帯等の使用時間、高校生女子では、運動の好き嫌い、テレビ・ゲーム・携帯等の使用時間であった。肥満児の生活習慣が明らかになったことから、肥満予防のために望ましい食習慣及び運動習慣を身につけることが重要である。

研究教育事業部

栄養士養成施設における学生への包丁技術指導法に関する研究

山梨学院短期大学食物栄養科 鈴木 耕太

栄養士は栄養の指導に従事する事を業にするものと定められているが、実際は調理に携わることが多く調理技術、特に包丁技術の習得は必須である。しかし、栄養士養成課程の学生の包丁技術は顕著に低下しているという報告がある。初学者の包丁技術に関しては動作解析法による包丁技術の向上に関する研究等多くの先行研究があるが、具体的に有効性のある教え方そのものの検討は行われていない。指導者がどのように教えれば効率よく包丁技術を習得できるのか、十分な研

究がなされてこなかったと言える。本研究においては、包丁技術の高い実践力を持った栄養士を育成するために効率的で教育効果の高い指導法を検討することを目的とした。また行動分析学の標準的な実験計画法である個体内比較法を用いて個人の技術向上を目指すと共に、行動チェックリスト及び動画フィードバックによる指導の有効性を明らかにし、知見を得たので報告する。

腎臓病料理講習会の開催状況と参加者の 検査データの推移

東間夏美＊1、渡邊真帆＊1、中村みどり＊2 青木慎悟＊1、岡本裕子＊1、山梨学院短期大学 食物栄養科 ＊2 山梨県栄養士会 地域活動事業部会

2、3ヶ月に一度開催されている腎臓病料理講習会では、でんぷん製品を用いた料理の紹介や、管理栄養士による栄養指導を行っている。本発表では、2年前から継続的に講習会に参加されている、70代男性（Aさん）の経過を報告する。Aさんは、現在、主食にでんぷん製品を取り入れ、食事を計量し、コンピュータによる食事記録を行っている。講習会の参加前後で、eGFRの減少速度が緩やかになっており、食事療法の効果が現れていた。でんぷん製品を使用した低たんぱく食は、腎不全患者の腎機能の保護に有効であると考えられる。

栄養指導実習における自己評価と相互評価の分析

関戸元恵、深澤早苗（山梨学院短期大学 食物栄養科）

学生は「栄養指導実習」内で集団栄養指導の模擬授業を体験する。本研究では、模擬授業実施後の自己評価と相互評価による関連性の検討と自由記述による自己評価の分析を行った。対象は2018年度後期開講「栄養指導実習」履修者61名とした。各グループは栄養指導案と指導の教材・媒体を作成、模擬授業を実施後、自己評価と相互評価を行った。評価項目は全12項目とし平均値の比較と相関分析、自由記述はテキストマイニングによる分析を行った。全項目の平均値は、自己評価が相互評価より低くなり、正の相関は1項目、やや強い相関は2項目でみられた。

お知らせ

日本栄養士会 WEBサービスを利用しましょう！！

1. WEBサービスを利用するためのIDとパスワードはご存じですか？

不明の会員様は山梨県栄養士会事務局にお尋ねください。

2. WEBサービスで何ができるの？

（1）住所や氏名、資格等、自身の個人情報に変更があった時、ご自身でデータを更新出来ます。

（2）山梨県栄養士会や、各都道府県栄養士会が開催する研修会に手軽に受講申込みが出来ます。

山梨県栄養士会ウェブサイト
QRコード



☆さあ、山梨県栄養士会ウェブサイトアクセスしてみましょう！！



◆パソコンの場合

①トップページ右側の「日本栄養士会 会員WEBサービス」ボタンをクリック！！

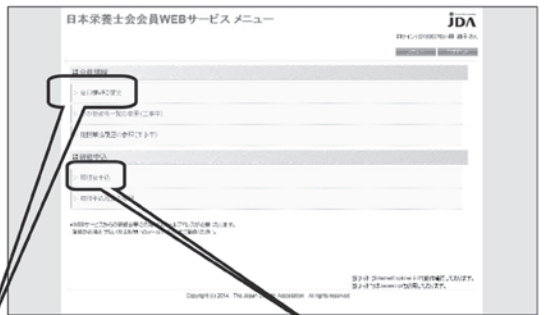


◆スマートフォンの場合

①ページ右下の「サイドバー」をクリック後、「日本栄養士会 会員WEBサービス」ボタンをクリック！！



②「会員番号」と「パスワード」を入力！！（※パスワードは平成27年「日本栄養士会雑誌」7月号に同封され送付されておりますが、紛失された方はパスワードを再発行いたしますので、山梨県栄養士会事務局までご連絡下さい。）



③「会員情報の変更」をクリックし、変更する情報を入力更新して下さい。

＊「研修会申込」をクリックすると栄養士会で開催される研修会の申込が出来ます。

各種事業・研修会等実施のようす

歯の衛生週間に伴う栄養相談を実施

各支部での取り組み

・中北支部

と き 令和元年6月2日(日)
 ところ 甲府市総合市民会館山の都アリーナ
 イオンモール甲府昭和店 計2カ所
 内 容 ・料理カードを用いた食事バランス診断と栄養相談
 ・よく噛むことの効用について
 ・糖尿病予防のための食事の秘訣
 ・食材カードや歯の模型を用いた、よく噛んで食べることにに関する講話



・峡北支部

と き 令和元年6月2日(日)
 ところ 韮崎市民交流センター ニコリ
 内 容 ・栄養相談
 ・パンフレットの配布



・峡東支部

と き 令和元年6月1日(土)・2日(日)
 ところ アピタ石和店
 いちやまmart塩山店 計2カ所
 内 容 ・栄養相談、食事指導
 ・塩分クイズ
 ・ぬりえ
 ・パンフレット等配布



・峡南支部

と き 令和元年6月1日(土)
 ところ 道の駅 富士川
 内 容 ・ぬりえ(歯みがき啓発用)
 ・豆つかみ体験
 ・食育クイズ



・富士・東部支部

と き 令和元年6月1日(土)
 ところ Q-S T A 3階フロア
 内 容 ・歯の無料健康相談(食に関する相談)



食育推進全国大会 in 山梨での取り組み

令和元年6月29日(土)・30日(日)
 ところ アイメッセ山梨
 内 容 食育推進の取組に関する展示・PRをするブースにて食育ゲームやバランスの取れた食事を含めた栄養相談の実施、スポーツ栄養・高齢者の低栄養を防ぐための講演を行った。



食生活と植物油栄養に関する講習会を開催

と き 令和元年8月17日(土)
 ところ クラウンパレス甲府
 内 容 講演「植物油に関する基本情報について」
 講師 一般社団法人日本植物油協会
 専務理事 齊藤昭 先生
 講演「食用油脂と健康との関わり」
 講師 女子栄養大学
 教授 川端輝江 先生



いきいき山梨ねりんピックでの栄養相談の取り組み

と き 令和元年9月28日(土)
 ところ 小瀬スポーツ公園
 内 容 「健やか山梨 21 ★国保いきいき広場ブーステント」における栄養相談

JDA-DAT リーダースキルアップ、スタッフ育成並びに公衆衛生事業部員対象の研修会を開催

と き 令和元年11月2日(土)
 ところ ぴゅあ総合大研修室
 内 容 講演「災害時の乳幼児の食・栄養支援～赤ちゃん防災プロジェクトへの取組～」
 講師 公益社団法人日本栄養士会
 常務理事・災害支援チーム
 JDA-DAT 総括 下浦佳之 先生
 意見交換「JDA-DAT の活動を県・市町村に周知するための方法について」

県民の日記念行事での栄養相談の取り組み

と き 令和元年11月16日(土)
 11月17日(日)
 ところ 小瀬スポーツ公園
 内 容 1. SAT システムによる食事診断と、診断に基づく食事バランスガイドによる食生活相談
 2. 災害時用備蓄食品展示
 3. 賛助会員さま展示



第35回歯科保健のつどいでの栄養相談の取組み

と き 令和元年11月17日(日)
 ところ アイメッセ山梨
 内 容 1. SAT システムによる食事診断と、診断に基づく食事バランスガイドによる食生活相談
 2. ミニ講演会(エプロンシアター)



健やか山梨 21 推進大会に参加

と き 令和元年11月30日(土)
 ところ 山梨県立文学館
 内 容 望ましい食生活についての展示
 塩分クイズによる減塩を含めた食生活相談

栄養士研修会並びに栄養管理研修会(生涯教育研修会)を開催

と き 令和元年12月14日(土)
 ところ 山梨学院短期大学 51 号館
 内 容 (1) 講演(午前 栄養士研修会)
 「学会発表・実践活動報告に求められるスキル」
 講師 新潟医療福祉大学
 健康科学部健康栄養
 学科 教授
 斉藤トシ子 先生
 (2) 講演「日本人の食事摂取基準(2020 年版)について
 ー策定の基本的な考え方と改定のポイントー」
 講師 東邦大学医学部社
 会医学講座 衛生
 分野 准教授 朝倉敬子 先生
 (3) 講演「高齢者の褥瘡管理
 ～施設・在宅における栄養管理～」
 講師 かとう内科クリニック
 管理栄養士 田村佳奈美 先生



出前栄養相談事業

児童館での取り組み
 訪問した児童館 40 カ所
 協力会員 地域活動事業部員 各2名ずつ
 内 容 紙芝居、減塩クイズによる食育
 小規模事業所への訪問栄養指導
 内 容 事業所職員に対する栄養相談



厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます

兵庫県で開催されました令和元年度全国栄養改善大会の席上において表彰されました。

厚生労働大臣表彰を受賞して

回生堂病院 佐藤 秀子

この度、身に余る厚生労働大臣賞をいただき誠にありがとうございます。受賞に際しましては、ご推薦をいただきました富士東部保健所関係の方々、並びに山梨県栄養士会の皆様に心より感謝申し上げます。

振り返りますと、38年前、回生堂院で中野輝子先生に、病院の仕事のみならず、未熟な私にも歯科検診、国民栄養調査など様々な活動にも誘っていただき、熱心にご指導いただいた時からスタートしました。管理栄養士をとろうと決意したのも、(旧)大月保健所管内の栄養士会の先輩方が「みんなでとりましょう」といった熱い一言でした。お陰様で、精神科の病院と給食委託会社で一般病院を経験し、今また、精神科の病院で働くことができています。その間、結婚、子育て、介護をしながらも長く続けてこられたのも、管理栄養士の先輩方や仲間の活躍に励まされたからです。

栄養の世界は、集団から個へと大きく変化し、食の情報は世の中にあふれ、エビデンスに基づいた正しい情報提供が、管理栄養士の責務であり、今よりも「寄り添う栄養」へと求められています。私は、この受賞を励みに、もう少しこの仕事に身を置き、微力ながらもお役に立ちたいと考えております。

なにとぞ、これからも皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

厚生労働大臣表彰を受賞して

研究教育部会 山梨学院短期大学 樋口 千鶴

この度は厚生労働大臣表彰の栄誉を賜り、身に余る光栄です。ご推薦を頂いた山梨県栄養士会及び関係各位の皆様方のおかげと心より感謝申し上げます。

長年栄養士養成教育に携わってまいりましたが諸先輩、同僚、後輩の先生方の協力なくしてはあり得ないことと感じております。

また、刻々と変わる栄養問題や公衆衛生などに対応できる栄養士を育てていくためには最新の知識が必要不可欠であり、栄養士会での研修会や生涯学習の場は生の教材として大変勉強になっています。

今後も社会で活躍できる栄養士の育成を手助けしていくと共に微力ながら栄養士会に貢献できるよう精進していきたいと存じますので、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

厚生労働大臣表彰を受賞して

地域活動事業部 桂原由味子

令和元年7月28日全国栄養改善大会の席上にて栄えある厚生労働大臣表彰を頂きました。身に余る受賞に際しまして、ご推薦を頂きました、中北保健所峡北支所や栄養士会、たくさんの方々により感謝申し上げます。

初めて栄養士として働いたのは、東京の研究所の付属病院でした。調理はすべて手作りで野菜は山のようにあり田舎者の私は驚きで、先輩たちのようには動くことができませんでした。出会いにも恵まれて様々な経験をさせていただき、2年くらいすると事務処理や糖尿病教室などを担当させていただきました。山梨では、病院、学校に期間採用の栄養士、福祉施設などで勤務し、令和元年5月に退職し、診療所での栄養指導を行っています。

たくさんの方々に出会い、支えられて何とかやってこられたものも多くの皆様のおかげです。これからも人との出会いを大切にし感謝いたします。微力ではありますが今後もお役に立てたらと思っています。

推薦基準 栄養士養成功労者

現に栄養士、管理栄養士養成施設の設立者（法人にあってはその代表者）、施設長又は教職員であって栄養士、管理栄養士養成のため特に顕著ウナな功績があったと認められる者で当該年4月1日において次の各号のいずれにも該当するもの

- (1) 功績に係る従事年数が10年以上（教職員にあたっては15年以上）で年齢が50歳以上であること。
- (2) 原則として都道府県知事又はこれに準ずる者の表彰を受けたことがあること。

栄養指導業務功労者

現在、栄養士の免許を有する者であって、常に第一線に在って実際の栄養指導業務を担当し、栄養士としての活動に特に顕著な功績を有すると認められる者で当該年4月1日において次の各号のいずれにも該当するもの

- (1) 功績に係る従事年数が20年以上で、年齢が50歳以上であること。
- (2) 原則として都道府県知事又はこれに準ずる者の表彰を受けたことがあること。

山梨県知事表彰受賞おめでとうございます

令和元年11月30日に県立文学館において開催された「健やか山梨21推進大会」の席上において表彰されました。

知事表彰を受賞して

福祉事業部（児童） 富士川町役場 井上さなえ

この度はたいへん光栄な賞をいただき誠にありがとうございました。

ご推薦いただきました峡南保健福祉事務所関係者、山梨県栄養士会の皆様に心より感謝申し上げます。

私は保育所栄養士としてスタートし今日に至っています。初めての採用だったため、前任者がいなく、また一人職場でしたので、手探りの中で仕事を進めてきました。悩んだり、迷ったりした時に相談できる同じ栄養士の先輩や仲間は大きな支えでした。

家庭の食生活が多様化している中、保育所現場では家庭との連携や一人ひとりの子どもの発達に見合った食事、食物アレルギー児への対応など個別的配慮の必要性が増しています。異なる職種が協働し施設全体で取り組むことで質が高められます。チーム保育の一員として役割を果たしていきたいと思います。今後とも皆様のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

栄養関係功労者知事表彰を受賞して

公衆衛生事業部 佐藤 悦子

この度は、栄養関係功労者として知事表彰をいただきありがとうございました。推薦をしていただきました栄養士会、中北保健所峡北支所の皆様に心より感謝申し上げます。

私立保育園の栄養士として就職し、家庭に入り子育てを経験し、行政栄養士にチャレンジする機会に恵まれ現在を迎えています。

乳幼児健診、学校給食、健康教室、家庭訪問などいろいろな業務に関わってきました。小さな子供たちから高齢者まで、いろいろな立場の方々と接する機会を持つことが出来たのは、栄養士という職業に就いたからであり、そ、ここでの学びは私の財産となっています。

社会状況の変化が激しく、日々の業務も煩雑になっていますが、他職種連携を職場から実践して乗り越えたいと思っています。また、多様化している個々の課題にも丁寧に対応できるよう努力すると共に、1人でも多くの市民の笑顔が見られるよう、これからも一歩ずつ歩んでいきたいと思っています。

栄養改善功労者表彰を受賞して

富士吉田市学校給食センター 外川 泉

今回、このような賞を頂戴したのはひとえに栄養士の諸先輩方や関係の皆様のお陰と、深く感謝申し上げます。

社会の変化により、高齢者への対応と災害に関する対応をはじめ、多くの対応が求められています。今後ますます需要が増え、その対応次第で結果が大きく左右されます。対象者はもちろんのこと、管理栄養士や栄養士自身の存在にも言えることです。

その解決のひとつは、周りの関係する団体や人とスクラムを組むことと考えます。私自身、長く食生活改善推進員さんや食に関わる方々とともに、様々な活動をしてきました。

ともに考え活動した日々は、大切な宝物です。

まずは管理栄養士・栄養士がスクラムを組み次に関係する人々に加わっていただいて、よい結果を導けるよう切磋琢磨しましょう。私もこれを機に、さらに精進する所存です。

推薦基準 栄養士養成功労者

現在栄養士の免許を有する者であって、常に第一線にあって実際の栄養改善業務を担当し栄養士としての活動に特に顕著な功績があった者並びに栄養士の資質向上、組織活動等を通じ、栄養士制度の発展向上の為、功績が特に顕著であると認められる者で次の各号に該当するもの

- (1) 栄養関係業務に20年以上従事した者であること。
- (2) 年齢は推薦締切日現在満50歳以上であること。





栄養士養成卒業後を語る ～ホームカミングデイ開催～

研究教育事業部 山梨学院短期大学 中川 裕子

2020 年は節目の年、研究教育事業部に所属し、2 年間の栄養士養成に携わり、数多くの栄養士を県内外に送出しました。様々なイベントで卒業生の皆様の活躍を、目や耳にする時が一番の喜びを感じます。食と栄養に関わる一人として、「興味関心を持って、食のあらゆる学びを広げ、さらなる知恵や人間力を高め、人々の健康に寄与すること」が大切なことと感じます。これからも、地球に優しいエコ活動を推進し、四季を感じられる環境で、旬の食を楽しみながら過ごせればと思います。

山梨学院短期大学ではホームカミングデイを昨年より始めました。どうぞ 2020 年 10 月末の土曜日、多くの卒業生の皆様に会えることを願っています。お誘い合わせておいで下さい。

新入社員として

医療事業部 エームサービス株式会社 川住 亮之

4 月から新入社員として働き、多くのことを学んでいます。毎日が勉強で新しいことが出来るようになるのはとても楽しいです。大学で勉強したこと以外にも多くのことを学ぶことができ、とても充実しています。職場の先輩方に支えて頂き、初めは出来なかったこと、時間通りにできなかった業務も少しずつできるようになっています。まだ、覚えることがたくさんあるので、一日でも早く出来るように精進しています。これからは自分で新たな知識を得たり、栄養士会の研修会などに積極的に参加して知識を深めたいです。そして、管理栄養士として成長していきたいと思います。

令和元年の振り返りと来年度への抱負

道志村役場 住民健康課 医療保健グループ 渡辺 慧

社会人 3 年目を迎えた令和元年度に道志村役場に採用されました。病院栄養士、地元市役所での臨時職員勤務を経て現在、行政職採用ではありますが、行政栄養士のお仕事をさせていただいています。道志村に栄養士の資格を持った者が採用されるのは初めてで、引き継ぐ業務と私が入ることで新たに始まる事業があり、仕事を整理して 1 つ 1 つに向き合っていくので精一杯でした。主な業務は、食改推運営、保育所給食献立作成、つばみっこ（保育所入所前の乳幼児とその保護者の交流の場）での「食事づくり会」担当です。加えて役場窓口では行政職として、住民票や印鑑証明の発行手続きもしています。

小さい村なので 1 回会えば名前と顔がわかるくらい、寄り添った支援を行う環境として他にない良さが道志村にはあります。保健師、事務職の皆さんに支えられて 1 年乗り切ることができました。来年度は、作り上げた土台をよりしっかりとしたものにして、村民のために尽力したいです。

新年の抱負

勤労者支援事業部 西尾 華江

私は今まで 0 歳から 104 歳の人々の栄養管理に携わって来ました。その中でどの世代にも共通して言える事は、食事とは生活の中の楽しみの一つであるという事です。私たちの住む日本は四季があり、旬の食材や伝統食で様々な美味しい物が食べられる、とても素敵な環境です。しかしその反面、若年層の米離れやスタイル維持の為に拒食が見られたり、好きなものを思う存分食べてしまい、肥満や生活習慣病などで悩んでいる人もいます。私は栄養士として、人と食物を真直ぐに向き合わせ、すべての人が食べる事は健やかな毎日を送るために必要である事、そして未来の夢や希望の第一歩である事と考えてもらえるように、栄養を伝えて行きたいと考えています。

今年の抱負

甲府市健康増進課 赤坂 朋美

昨年は甲府市が中核市へ、年号が令和へ変わり、変化の大きな濃い 1 年でした。私自身も社会人となり、学生時代に学んだ知識を活かしつつ、業務に携わる中で学ばせていただいている毎日です。

2 年目となる今年は、1 年目に行った業務を自分のものにし、より効果的、効率的に取り組んで住民の健康を支援していきたいです。そのために、基本的なことにはなりますが、まずは日々の業務の中で振り返りを行い、PDCA サイクルに則って改良を重ねていきたいです。また、先輩・上司や他職種の方々のご意見、情報を共有しながら業務に取り入れられるように、積極的にコミュニケーションをとり、信頼関係を深め日々成長していきたいです。

10 年後の自分の未来に願いをこめて

地域活動事業部 粟澤 里香

私はいま、チーフとして成長出来る為の階段を昇っている最中です。チーフになる前までの自分とチーフになった今とでは、背負う責任の重さ、大きさがあまりにも違う現実と日々向き合ってます。

そしてなによりも難しいのは自分の言葉でみんなに伝えて動いてもらうことです。一言、一言が前より重く感じます。それは自分の言動、行動に責任を持たなければいけないということを感じています。

何事も経験してみなければわからないので、自分にとってこの経験はこの先の糧になると信じて自分の道を歩んでいきたいです。

周りへの感謝の気持ちを忘れずに自分の本当にやりたいことの目標を見つけて叶えたいです。

これからまだまだ壁がたくさんあるので、そこに立ち向かっていける心の強さ、周りへの、ありがとうを持って生きたいです。

新年を迎えて

保育園勤務 今井 柚花

私は、保育園で栄養士をしています。私の勤務する園では、栄養士による食育授業、クッキングが年少から年長まで毎月行われています。0 歳から 2 歳までに於いても、旬の野菜を触ってちぎり、その日の給食で食べるなど、これらの食育活動も毎月必ず行っています。これら 1 つ 1 つの計画・準備、パネルを始めとする教材作りは、全て栄養士が行います。他の業務をこなしながらの日程は、1 日中、休憩時間も無いほどの忙しさです。業務が就業時間内に終わらないことは珍しくなく、持ち帰ることもあります。

少人数で、毎日の昼食やおやつ調理作業を行う他、献立に於いては、離乳食、アレルギー食、通常献立を複数立てます。100 人近くの昼食・おやつ作りに並行して、離乳食やアレルギー用の除去食を作らなければならないので、細心の注意を払っています。離乳食では、毎月離乳会議を開き、子どもたちの様子を聞きながら、保育士と連携し進めています。栄養士は大変な仕事ですが、子どもたちの澄んだ眼差しに励まされながら頑張っています。日に日に成長していく子どもたちのように、食のプロとして、これからも学び続けていきたいと思っています。

新年を迎えて

福祉事業部（高齢・障害） 福寿荘きらきら 志村 好美

新年あけましておめでとうございます。

大学を卒業後、管理栄養士の資格は取得したものの企業に就職。その後主婦をしておりました。縁がありお誘いをいただき、管理栄養士の職に就くことは学ばせてくれた両親への親孝行にもなるのでは…という思いもあり、思い切ってこの道に飛び込んでから数年が経とうとしています。普段は一人での仕事ですが、研修などに参加するたびに栄養士の地位向上のために活躍されている方々とお会いすることができます。そんな先輩方の足手纏いにならぬよう、信頼される栄養士でありたいという気持ちをいつも心に、人として、栄養士として成長できる一年にしたいと思っております。

新しい職場にて

福祉事業部（児童） 内野保育所 宮下 典子

私は今まで委託給食会社にて老人福祉施設や病院での給食運営に携わってきました。昨年学生時代からの希望であった保育園での採用が決まり、今までとは環境の違う現場で日々頑張っています。慣れない業務に苦戦する事もありますが、子どもたちの「おいしい」の声が何よりのやりがいに感じます。今後は栄養士という立場から食事を通して子どもたちの成長を見守ることが出来るよう、広い視野を持てるようになりたいと思っています。今はまだ、周りの方に助けていただくことが多いので、早く一人前になれるように、そして自分の理想とする栄養士像に少しでも近づけるように努力していきたいです。

職域事業部のコーナー

学校健康教育事業部

～未来を担う子どもたちのために～

丹波山村立丹波小学校 小林 耶慶

食を取り巻く社会環境は大きく変化しています。偏った栄養摂取や朝食の欠食などの食生活の乱れ、肥満や過度のやせ、アレルギー疾患等、個別対応が必要な子どもが増加しています。

学校では、平成 29 年度から順次、小学校、中学校、高等学校、支援学校における学習指導要領が改訂されました。各学習指導領域においては引き続き、「学校における

食育の推進」が総則に位置付けられ、教育課程の編成・実施に当たっては、教科等横断的な視点に立ち、新たに食に関する指導の全体計画と関連付けながら効果的な指導が行われるよう留意することが明記されています。

また、新学習指導要領等の改定を踏まえ、平成 31 年 3 月に「食に関する指導の手引き」が改訂されました。これを機に、家庭や地域、多校種との連携を深め、学校における食育のより一層の推進を図っていききたいと思います。

公衆衛生事業部

公衆衛生事業部の活動報告

公衆衛生事業部長 峡東保健福祉事務所（峡東保健所）
萩原久美子

公衆衛生事業部は、県、市町村の行政機関で、地域住民の健康を支援するための栄養指導や保健事業を行っている管理栄養士・栄養士の部会員で構成されています。

同じ行政栄養士であっても、県・保健所と市町村では業

務内容が違うため、日頃はそれぞれで定期的に集まって自主業務検討会を行っています。全体研修会は、1 月に災害対応をテーマとし、災害発生時の行政栄養士の活動について、講話、事例発表、グループワークを実施します。

慌ただしく変化していく世の中の流れに取り残されないよう、両者で連携しながら研鑽に取り組んでいます。

研究教育事業部

研究教育事業部の活動について

研究教育事業部長 山梨学院短期大学 樋口 千鶴

研究教育事業部では主として栄養士・管理栄養士の育成及び栄養・食に関し応用力を身につけた学生を養成するために各種研修会に参加し学んだことを日々講義・講演などに活かしています。

今年度は山梨にて食育推進全国大会が行われ、食育活動表

彰受賞事例発表会にて消費・安全局長賞受賞講演や「味覚チェックしてみませんか？」と題し、講演・実演を行いました。

また、学術研究発表会などにも積極的に参加し、発表を行い他職種の方たちとの交流も深めています。

今後も生涯教育研修会などを通し、微力ながら会員の皆様に役立つ情報を提供し、栄養士・管理栄養士の活躍にお役に立てばと考えております。



勤労者支援事業部

活動報告

勤労者支援事業部長 大柴 由紀

勤労者支援事業部では、企業や大学の給食施設、給食会社を中心に、また全国では外食企業、ドラッグストア、食品会社、保健指導機関、起業栄養士、スポーツ栄養士など様々な方が所属しています。他事業部と比較すると人数が少ないために、活動がままならない時もありますが、「健康寿命の延伸の推進」を目標に、これからも活動が続けて

いきたいと思います。

日本栄養士会の勤労者支援として注力している 3 つの分野は、1) 食環境整備、2) 特定保健指導分野、3) スポーツ分野です。勤労者支援事業部ならではのアプローチで「健康経営」に貢献し、グローバル化されていく食品流通・食材生産の基準・安全衛生基準を踏まえたスマートミール認証を進めていくことが課題とされています。今年度の生涯学習研修会にてスマートミール認証についての講習も予定していますので、ご参加いただければ幸いです。

地域活動事業部

地域活動事業部の活動報告

地域活動事業部長 赤澤 明美

児童館における出前栄養相談事業は、昨年度に引き続き県下 29 児童館で 38 会場で行っています。事前研修会では多数の部会員のご参加ご協力があり、子供達や保護者に向けて更に興味深く楽しく学べるように乳幼児用媒体数も増やし、担当 20 名の会員により大変好評にて残りわずかで終了予定です。

健康談話室での「元気食育教室」事業は、毎月 1 回乳幼児とその保護者に向けての栄養講話と個別相談を行っています。月齢差、個人差が大きいため、質問内容も多様化しますが、正しい知識をもって即答し、母親の気持ちに添った相談ができるよう工夫を凝らしています。また、甲府市幼児教育センターでの乳幼児食事栄養相談事業が 3 ケ月～8 ケ月の乳児と保護者対象に離乳食について 3 回

(7 月、11 月、2 月) 行なっています。

9 月には栃木県にて関東甲信越ブロック研修会が行われ、他県の部会員とのグループワークで地域部会員ならではの悩みや今後の自分を考える大変有意義な研修となりました。

高齢者の在宅訪問栄養指導事業に関する各種研修会では、多職種連携の中での栄養士の必要性を伝えています。が、なかなか業務に結びつかないのが現状です。部会員 1 人ひとりのスキルアップと多職種との連携を深めていく事で業務が広がると考えられます。部会員の皆様のご協力を引き続きお願い致します。

栄養ケアプロセス、特定保健指導等、他にも私たちが身に着けなければならない最新の知識や技術が沢山あります。出来る限り研修会に参加し、時代のニーズに対応出来る地域活動事業部でありたいと願います。

医 療 事 業 部

医療事業部 2019 年度スローガン 地域包括ケアシステムの一翼を担う ために栄養管理・栄養指導の連携を はかろう

医療事業部長 山梨大学医学部附属病院 小林 貴子

5 月 30 日には「安全に食べるため、病棟配置の管理栄養士ができること」と題し、峡南病院管理栄養士 飯島令子先生による研修会と平成 30 年度の事業報告、2019 年度日本栄養士会医療事業部事業計画について説明を行い 25 名が参加しました。

8 月には 2019 年度全国病院栄養部門実態調査 (追加調査) を行い、2020 年度診療報酬改定要望を充実したものにするために昨年実施した実態調査で明らかにできなかった項目の追加調査への協力を行いました。(臨床栄養 10 月号に概要掲載)

また、今年度も福祉事業部との合同にて、リハビリ栄養に関する研修会も予定しています。

医療事業部では、会員の知識向上を図り病院から在宅までシームレス (切れ目のない) な栄養管理・栄養指導を目指し、各職域事業部の皆様とも連携していきたいと考えています。

福 祉 事 業 部

今年度の活動報告

福祉事業部長（高齢・障害）特別養護老人ホーム 花菱荘

川窪真由美

今年度、福祉事業部では、「栄養士として備えておく災害対策～想定外をなくすため」と題し、栄養士会の副会長で県立北病院管理栄養士長の平井美樹夫氏を講師に迎え、施設の栄養士が、災害に対応していく基本を講演していたきました。今年は、台風の被害が多く報じられ、他人ごとでは、済まされない状況にあります。各施設とも、災害

に対応できるマニュアル作りが強く必要と感じました。

1月には、医療事業部との合同研修会で、リハビリに必要な栄養について、熊本リハビリテーション病院の嶋津先生をお迎えして講演会を開催します。

また、例年同様、認知症スタンプラリーも他の事業部の栄養士様にも協力頂き、参加しました。施設の栄養士として、各職域事業部の皆様と連携し、研鑽に努めていきたいと思ひます。

豊かな食生活を育む

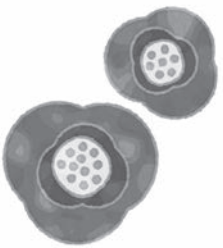
基盤づくりのための学び合い

福祉事業部（児童）和泉愛児園 梶原 智子
昨年度より、福祉事業部（児童）では、子どもたちの健やかな育ちを支えるために多様な職種との連携を意識し、そのための学び合いの機会や方法を模索してきました。その甲斐もあり、『食育』は『教育・保育』と一体であるということに実感を持ちながらの取り組みが進んでいるように思ひます。しかしながら、環境によっては思うような取り組みができない場合も数多くあります。

山梨県児福祉施設栄養士会は、子どもたちの健やかな成

長を『食』を通して支えるという同じ目的を持った栄養士が集まっています。先輩方からはたくさんの経験と豊富な知識を、まだ経験は浅くても意欲的に取り組む新人の栄養士からは新しい情報や、率直な疑問をいただき、お互いに刺激を感じながら学び合える貴重な場をこれからも検討、企画していきます。

私たちは、子どもたちが乳幼児の大切な時期に『食』を楽しみながら、そしてたくましく成長することを願ひながら、子どもたちの健康で豊かな食生活を育む基盤づくりに貢献できるよう、今後も学び続けてまいります。



—栄養ケアプロセスにおける栄養診断—

栄養診断とは（日本栄養士会 生涯教育研修会 資料【4. 栄養ケアプロセス】4－4 栄養診断から）

栄養診断とは、栄養ケアプロセス（NCP）における栄養アセスメントと栄養介入の中間の段階で、栄養アセスメントを基に対象者の栄養状態を診断することである。

解説

栄養アセスメントと栄養診断の関係は、栄養アセスメントは栄養状態の評価であり、栄養診断は栄養状態の総合的な判定という概念である。

栄養診断を理解するために

管理栄養士・栄養士は栄養診断を行う。これは栄養に局限した診断である。医学診断とは異なる。

解説

管理栄養士・栄養士は疾病があろうとなかろうと、また疾病（がん、肝臓病、糖尿病、腎臓病 等）が異なっても、栄養補給の手段（経口栄養補給法、経腸栄養補給法、経静脈栄養補給法）が異なっても、栄養状態の評価・判定に考えを置くことで専門性が発揮される。

栄養状態の考え方の基本

国内でも以前から、武藤泰敏らにより栄養状態を6区分で考えることが提唱されている。

区分	栄養状態	備 考
1.	適切な栄養状態	
2.	特定の栄養素の欠乏状態	ビタミン、微量元素欠乏症（例：鉄欠乏性貧血、亜鉛欠乏症 等）、必須脂肪酸欠乏
3.	数種類の栄養素の欠乏状態	栄養失調・飢餓〔例：たんぱくエネルギー欠乏症：PEM（protein-energy malnutrition）等〕
4.	特定の栄養素の過剰状態	ビタミン、重金属過剰症（例：ビタミンA中毒症 等）
5.	数種類の栄養素の過剰状態	過栄養（例：肥満症 等）
6.	栄養素相互のバランスが崩れた状態	栄養不均衡（例：アミノ酸インバランス 等）

栄養診断を理解するために

栄養ケアプロセスの**栄養診断**は、栄養介入により

- ・問題を完全に解決できるのかあるいは
- ・少なくとも徴候と症状を改善することができるのか
- これを明らかにする必要があり、それができる内容が対象となる。
- ・栄養ケアプロセス（NCP）の**栄養診断**には **70 の国際標準化された栄養診断コード**が用意されており、その中から適する栄養診断コードを選択する。
- ・栄養診断コードの活用は国際的に標準化された「**栄養診断基準**」の設定を見据えており、また日本国内では専門用語の標準化、地域連携の推進、栄養診断データ集約・蓄積による科学的エビデンスの検証を視野に入れている。

栄養診断の3つの領域

- ・**NI（Nutrition Intake：摂取量）**
「経口摂取や栄養補給法を通して摂取するエネルギー・栄養素・液体・生物活性物質に関わることから」と定義される。
- ・**NC（Nutrition Clinical：臨床栄養）**
「医学的または身体的状況に関連する栄養の所見・問題」と定義される。
- ・**NB（Nutrition Behavioral/environmental：行動と生活環境）**
「知識、態度、信念、物理的環境、食物の入手や食の安全に関連して認識される栄養所見・問題」と定義される。

上記の3つの領域において **70 の栄養診断**が認められている。（詳しくは、「国際標準化のための栄養ケアプロセス用語マニュアル」を参照 第一出版）

栄養診断を理解するために

- ・栄養診断は重要だと思われる内容に順位をつけ、重要なものから優先して選択する。（重要な内容は、NI(摂取量)なのか？ NC(臨床栄養) なのか？ NB(行動と生活環境)なのか？ まずは冷静に考えて！）
- ・栄養診断は簡潔に **1 つに絞**り込むことが良いが、重要な問題が複数ある場合には**栄養診断が 2 ～ 3 つ**になることもあり得る。なるべく **3 つ以内**でまとめることが望ましい。

栄養診断は「**PES 報告**」とよばれる文章表現を活用し、簡潔な一文で記載する。

「S の根拠に基づき、E が原因となった（関係した）、P の栄養状態と栄養診断できる」

栄養診断の PES 報告

「PES」は下記の略語である。
P (Problem or Nutrition Diagnosis Label：問題や栄養診断の表示)
E (Etiology：原因や要因)
S (Sign/Symptoms：栄養診断を決定すべき栄養アセスメント上のデータ)
栄養診断は
「Sの根拠に基づき、Eが原因となった（関係した）、Pの栄養状態と栄養診断できる」と簡潔な一文で記載する。

栄養診断の PES 報告のポイント

problem(P) related to etiology(E) as evidenced by signs and symptoms(S)
① 症状 / 徴候 (Sign/Symptoms) の根拠に基づき、
② 要因 (Etiology) が原因となった（関係した）、
③ 問題や栄養診断の表示 (Problem or Nutrition Diagnosis Label) と栄養診断できる。

栄養診断の PES 報告と栄養介入， モニタリング・再評価の関係

- ・「PES」で記載する E（Etiology：原因や要因）の内容は、今後の栄養介入計画を作成する基礎となる内容でなくてはいけない。
- ・「PES」で記載する S（Sign/Symptoms：栄養診断を決定すべき栄養アセスメント上のデータ）の内容は、今後のモニタリングや再評価を考える基礎となる内容でなくてはいけない。

（参考）栄養アセスメントデータ

- ・栄養アセスメントは栄養が関係する問題、それらの原因、さらに意義を識別するために必要なデータを 取得・解明・検証するためのシステムチックな方法。
- ・栄養アセスメントの指標（データ）は5つの項目に分けられる。
 - ・食物／栄養関連の履歴
 - ・身体計測
 - ・生化学データ
 - ・既往歴

（参考）栄養アセスメントデータ

項 目	指 標
食物／栄養関連の履歴	食物・栄養素摂取，食物・栄養素管理，薬剤・栄養補助食品の使用，知識・信念，補助品の入手のしやすさ，身体活動，栄養に関連した生活の質
身体計測	身長，体重，体格指数，成長パターン指標・パーセンタイル順位，体重の履歴
生化学データ、医学検査	生化学検査値，検査（例：胃内容排泄時間、安静時代謝率）
栄養に焦点を当てた身体所見	身体的外見，筋肉や脂肪の消耗，嚥下機能，食欲，感情
既往歴	個人的履歴，医学的・健康・家族履歴，治療，補完・代替薬剤の使用，社会的履歴

叙述的記録（SOAP）との統合

現在、日本国内で広く使用されている叙述的記録（SOAP）を活用する場合は、Aの欄に栄養アセスメントを記載した後に、その内容をもとに総合的に判定する栄養診断の根拠を記載することになる。
つまり
栄養診断 N ●-●.●○○○○○
S（主観的情報）
O（客観的情報）
A（栄養アセスメント＋）
P（栄養介入、モニタリング項目、再評価項目）
という記載の順番となる。

診療録への記載例

栄養診断 N ●-●.●○○○○○
S 主観的情報
O 客観的情報
A 栄養アセスメント
P Mx) Monitoring plan（モニタリング計画）
Rx) Therapeutic plan（栄養治療計画）
Ex) Educational plan（栄養教育計画）

具体的な症例で考えてみよう

病名：1 肥満症
43 歳男性、身長 165 cm、体重 90 kg（20 代 70 kg，30 代 80 kg）、BMI 33.1 kg/m2、腹囲 107.0 cm
生化学検査：異常値なし、薬物療法なし
・患者の訴え
家族は 4 人（妻，子ども 2 人）暮らし。普段から食事は家庭で食べる。
外食もしない。アルコールも喫煙もしない。
仕事は 30 歳で主任になり、40 歳で係長になった。仕事は真面目にしているが、性格的に他人の評価が気になってしまふ。もともとぼっちゃりしていたが、係長になってから、忙しくなったり、悩んだりすると、つつい菓子類（洋菓子やスナック菓子）や甘いジュース類を飲食してしまう。
今まで車通勤だったが、減量するように言われ、電車通勤にして一駅分は歩き始めた。

- 1 栄養診断の提示（重要度の高い事項）
まずは、症例から考えられる栄養診断を提示してみる。
① NI-1.5 エネルギー摂取量過剰 ☐ NI（摂取量）
② NI-2.2 経口摂取量過剰 ☐
③ NC-3.3 体重過多・病的肥満 ☐ NC（臨床栄養）

④ NB-1.1 食物・栄養に関連した知識不足 ☐ NB（行動と生活環境）

- 2 重要な栄養診断の絞り込み
【症例から考えられる栄養診断の提示】
① NI-1.5 エネルギー摂取量過剰
② NI-2.2 経口摂取量過剰
③ NC-3.3 体重過多・病的肥満
④ NB-1.1 食物・栄養に関連した知識不足
次に上記に提示した栄養診断の中から、一番問題の根源となっている栄養診断は何かを考えてみると、「忙しくなったり、悩んだりすると、つつい菓子類やジュース類を飲食する」習慣により、“経口摂取量過剰”を引き起こしている。そこで最終的な栄養診断は【NI-2.2 経口摂取量過剰】となり、その内容を PES 報告で簡潔に一文記載することになる。
3 栄養診断の PES 報告
PES 記録
P：(Problem) 問題／栄養診断
E：(Etiology) 要因
S：(Sign/Symptoms) 症状 / 徴候
栄養診断【NI-2.2 経口摂取量過剰】を PES 報告で記載すると下記となる。

- ↓
「間食による摂取量増加、体重増加および BMI・腹囲の高値がみられることから (S)、ストレス負荷時の適切な食物・飲料に関わる食物・栄養に関連した知識不足による (E)、経口摂取量過剰の状態にある (P)」と栄養診断する。
4 PES 報告と栄養介入、栄養モニタリングと評価の関係
・P (Problem or Nutrition Diagnosis Label:問題や栄養診断の表示) は【NI-2.2 経口摂取量過剰】と栄養診断する（栄養状態の判定）。
・E (Etiology：原因や要因) はストレス負荷時の適切な食物・飲料に関わる食物・栄養に関連した知識不足である。これにより、今後の栄養介入計画は「間食時の適切な食べ物・飲み物」の栄養教育を実施することが計画される。
・S（Sign/Symptoms：栄養診断を決定すべき栄養アセスメント上のデータ）は間食による摂取量増加、体重増加および BMI 高値がみられることである。これにより、今後の栄養モニタリングや再評価の項目は「間食の摂取量」「体重・BMI の変動」を経時的に評価することになる。
5 【栄養食事指導報告書】
栄養診断 NI-2.2 経口摂取量過剰（最初に栄養診断、コード、内容を記載）
S 忙しくなったり、悩んだりすると、つつい菓子類（洋菓子やスナック菓子）や甘いジュース類を飲食してしまう。
O #1 肥満症
43 歳男性、家族 4 人暮らし、食事は妻が担当。外食 - 、アルコール - 、喫煙 -
身長 165 cm、体重 90 kg（10 kg ↑ /10 年）、BMI33.1 kg/m2
目標エネルギー量 1,500 kcal/ 日

A 食事摂取量が目標エネルギー量に対して 200% である。（主に間食により摂取量増加）
（栄養アセスメントデータ【食物／栄養関連履歴】）
体重 90 kg（BMI33.1 kg/m2）で肥満症診断基準 肥満 2 度である。

栄養診断の根拠（栄養アセスメントデータ【身体計測】）
間食による摂取量増加、体重増加および BMI・腹囲の高値 (S) がみられることから、ストレス負荷時の適切な食物・飲料に関わる食物・栄養に関連した知識不足 (E) による、経口摂取量過剰の状態 (P) にあると栄養診断する。(PES で記載)

- P Mx) 間食の摂取内容、体重・BMI の変動、腹囲
Rx) 食事療法 1,500 kcal/ 日（間食 200kcal/ 日）、体重の減量（目標 80kg/6 ヶ月）
Ex) エネルギー間食類を理解し、間食のとり方のルール作りを実施する。
（P（計画）は、PES 報告の内容とリンクすること）

Mx：Monitoring plan（モニタリング計画） Rx：Therapeutic plan（栄養治療計画）
Ex：Educational（栄養教育計画）

医療機関名

主治医 ○ ○ ○ 殿

報告者：管理栄養士氏名 △ △ △

症例 1 様を指導した結果はつぎのとおりです。

指導依頼内容・制限・禁止事項	減 量 ・ ・ ・ ・ ・	
指導日	令和○年○月○日（○） 時 分～ 時分	☐ 初回 ☐ 第（ ）回目
S) (Subject)：主観的情報 忙しくなったり、悩んだりすると、つつい菓子類（洋菓子やスナック菓子）や甘いジュース類を飲食してしまう。		
O) (Objective)：客観的情報 身長 165. ____ c m 体重 90. _ k g （BMI: 33.1 kg/m2）、 標準体重_____. ____ k g （10 kg ↑ /10 年）（20 代 70 kg, 30 代 80 kg） #1 肥満症 43 歳男性、家族 4 人暮らし、食事は妻が担当。外食 - 、アルコール - 、喫煙 - 目標エネルギー量 1,500 kcal/ 日		
A) (Assessment)：評価 食事摂取量が目標エネルギー量に対して 200% である（主に間食により摂取量増加）。 体重 90 kg（BMI33.1 kg/m2）で肥満症診断基準 肥満 2 度である。 栄養診断の根拠 <u>間食による摂取量増加、体重増加および BMI・腹囲の高値 (S)</u> がみられることから、 <u>ストレス負荷時の適切な食物・飲料に関わる食物・栄養に関連した知識不足 (E)</u> による、 経口摂取量過剰の状態 (P) にあると栄養診断する。		
P) (Plan)：計画 Mx) 間食の摂取内容、体重・BMI の変動、腹囲 Rx) 食事療法 1,500 kcal/ 日（間食 200kcal/ 日）、体重の減量（目標 80kg/6 ヶ月） Ex) エネルギーの低い間食類を理解し、間食のとり方のルール作りを実施する。 Mx：Monitoring plan（モニタリング計画） Rx：Therapeutic plan（栄養治療計画） Ex:：Educational（栄養教育計画）		

公益社団法人山梨県栄養士会

令和元年 在宅多職種連携の活動の中で管理栄養士が出来たこと

深澤 幸子

「栄養は大切だから！！」と、富士・東部地域の複数の在宅多職種連携の会に「大切な居場所」をひとつ頂いています。それらの会には、私たちに指示を出してくださる医師や在宅医療を支える専門職が勢ぞろいです。私が参画する幾つかの会で、常に「栄養士会」の存在や役割を説明してきましたが中々在宅で活動する機会には繋がりませんでした。

私は「命を繋ぐのが食べること＝栄養」だと思い込んでこの仕事をして来ましたが、管理栄養士という存在が無くても「栄養・食以外で在宅医療は完結」していた今までが有ったのです。

多職種連携の会への参画から、今までは出来なかった管理栄養士の「栄養・食に関する活動」が徐々に出来るようになりました。それは、ある訪問看護師さんから患者さんの栄養管理について相談を受ける事が多くあった事から始まりました。

内容は「食欲不振高齢者・糖尿病・透析・がん（糖尿病あり）・褥瘡患者さんの栄養管理」等でした。「なんでも食べていれば大丈夫」という概念があるから！！

在宅医療に多くの専門職種が関わっていても「栄養・食」の問題発見は難しいのだと思います。在宅褥瘡患者さんの例では「栄養管理」の指示はまず出されないのだそうです。指示が無ければ「栄養問題」は課題には上がらないのです。

その様な状況下でも、管理栄養士と一緒に活動する中で栄養アセスメントから栄養診断して「その人に必要な“食材や食形態”を食べられるように工夫して“栄養管理”を支援出来る」専門職と理解してくださる多職種がいてくれたから活動の場が出てきたのだと思います。

これからも諦めることなく「多職種連携」をキーワードに課題である「栄養の二重負荷」対策を考えながら、地域で「管理栄養士・栄養士」の活動の場を増やしていけるように栄養士会総力を挙げて頑張っていきたいと思います。

多職種交流で考えを深めてみませんか

山梨県立北病院 平井美樹夫

在宅訪問の多職種連携では、他職種に栄養士はどこにいてどんなことができるのかを知ってもらうことが大切です。栄養士自身も訪問後に他の職種に必要な情報を流さなければならいので、他職種のできることや求めている情報を知らなければなりません。そんな連携がうまくいくために、甲府市では「医療・介護連携 顔の見える関係づくり交流会」毎年開催しています。

その研修会が今年は地区別に 3 回あり、私は 10 月 30 日の 2 回目に参加しました。18 時 45 分から甲府市総合市民会館ではじまった会は 200 人を超える人達の熱気に包まれていました。余命で何をしたいか気持ちを整理する行政作成のツール「想いのマップ」について説明の後、事例について 28 グループに分かれて検討しました。私のグループには看護師、精神保健福祉士、介護支援専門員、介護福祉士、歯科医師、作業療法士がいました。事例はガン末期で食事量・水分量・筋力が落ちている方でリハビリが必要との意見が出たので、その前に栄養を確保しないとリハビリでより筋力の低下が早まる事を話しました。食事量が落ちることは栄養に結び付くが、リハビリと栄養は結びつかない方が多いようでした。残念ながら全体発表での発言は希望者が多く発言できませんでしたが、同じグループの人たちには理解してもらえました。

今回の参加者の内訳は看護師又は保健師が 30.9%と最も多く、栄養士の参加は 1.8%と少なく、病院や高齢者福祉施設や在宅で活動している栄養士の方にも、もっと参加して欲しいと思いました。高齢者の病態知識がないと参加できないのではと二の足を踏む栄養士もいるかもしれませんが、この交流会は事例検討が目的ではなく、「顔の見える関係づくり」や「役割の見える関係づくり」が目的なので、福祉施設の事務長さんも参加しています。科学的理論も大事ですが高齢者や家族の気持ちを理解した行動を考える機会として参加いただければと思います。

「I C タグを内蔵した実物大の食品サンプル「食育SAT（サット）システム」による
パソコン栄養診断の導入による食生活相談が大人気です。

本会では、誰でも直感的に理解できる体験型食事教育システム（食育 SAT システム）を導入し、県民の皆様にご自分の食生活の改善策や食生活の望ましいあり方を、会員が支援する事業を始めました。

実物大のフードモデルを選んでセンサーボックスに乗せるだけで、瞬時にその食品のエネルギー、栄養素量を計算し印刷して、それを元に日頃の食生活について、管理栄養士・栄養士が専門的な相談に応じています。

相談者が実物大の食品サンプルを通じて日常的な食事における栄養バランスの偏りや摂取量の過不足などをリアルに体感することにより、自分のこととしての気づきを得ることができます。

今回は、「県民の日」（小瀬スポーツ公園）と「山梨県民歯科保健のつどい」（アイメッセ山梨）において、山梨学院大学健康栄養学部の学生さんの協力を頂き実施しました。両日とも、250人以上の方の相談に応じました。



日本栄養士会会長表彰おめでとうございます

令和元年7月28日全国栄養改善大会の席上において表彰されました

小佐野文子	山梨赤十字病院
片山眞智子	地域活動事業部
斉藤 由香	山梨立正光生園
志村 美春	地域活動事業部
志村 美幸	地域活動事業部
田中 雪江	市立甲府病院
細井 洋子	山梨リハビリテーション病院
望月あゆみ	地域活動事業部
横小路みゆき	山梨檜の会 ゆめみどり

（顕彰資格：会員歴 25 年以上・40 歳以上）

令和元年度の栄養士会費を3月31日までにご納入くださいますようお願いします。

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

公益社団法人 山梨県栄養士会 役員一同

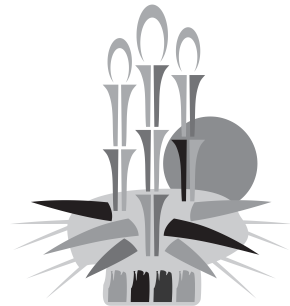
理 <
--

賛助会員名簿

令和2年 元旦
公益社団法人 山梨県栄養士会 賛助会員 (順不同) 令和2年1月1日現在

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
エ コ ア 株 式 会 社	055-241-1755	相 川 秀 樹	防鼠害虫駆除
和 泉 産 業 株 式 会 社	055-222-1153	飯 野 知 彦	食器、厨房機器
大 塚 製 薬 甲 府 出 張 所	055-276-8581	藤 井 一 徳	ポカリスエット、ネイチャーメート
(株) オ ズ プ リ ン テ イ ン グ	055-235-6010	丸 山 健	印刷、出版、紙工
甲 信 食 糧 (株)	055-273-4561	入 倉 斉 二	食品材料卸
シ キ シ マ 醬 油 (株)	055-273-6844	小 林 秀 男	醤油、減塩調味料、ジャネフ製品
信 濃 化 学 工 業 (株)	0262-43-1115	営 業 部 上 野 清 登	食器、トレイ
(株) テ ン ヨ 武 田	055-266-5251	深 沢 正 道	醤油、給食材料
(株) 日 新 厨 房 企 画	055-273-3881	杉 本 哲 史	厨房設備の企画・設計・施工管理、厨房機器販売、 修理・保守点検管理、厨房に関する相談業務
(株) は く ば く 管 理 本 部	055-274-8989	興 石 修	麦の総合食品メーカー、「骨太家族」
山 梨 ヤ ク ル ト 販 売 (株)	055-237-8960	柳 本 剛	健康科学ヤクルト
三 信 化 工 株 式 会 社	03-3539-3414	飯 塚 達 哉	メラミン、ポリプロ食器
テ ル モ 株 式 会 社	0263-48-0701	大 庭 幸 一 郎	医療用食品の製造、販売
東 洋 羽 毛 首 都 圏 販 売 株 式 会 社 西 東 京 営 業 所	042-675-8811	片 野 博 之	羽毛布団
東 京 サ ラ ヤ (株) 東 京 営 業 所 八 王 子 出 張 所	042-620-0321	松 田 康 志	食品衛生材料、栄養食品の製造、販売
日 清 医 療 食 品 (株) 中 部 支 店	026-269-6700	霍 田 学	給食委託業務、給食材料、濃厚流動食
株 式 会 社 岩 崎 松 本 営 業 所	0263-39-0501	荻 原 哲 也	食生活、栄養指導用食品模型製造、販売
株 式 会 社 ク リ ニ コ	03-3793-3939	森 川 貴 子	病態栄養食品の普及、販促
東 洋 シ ス テ ム サ イ エ ン ス	045-451-3191	天 野 雅 浩	給食・栄養管理及び指導ソフト「カロリーメイク」 の開発販売
(株) オ オ キ	055-273-6644	芦 澤 秀 雄	食品、環境の衛生管理、ソフト、ハードの全般
(株) ユ ウ シ ス テ ム	055-223-3085	山 口 竹 夫	福祉関係ソフトウェア開発、コンピューター機 器販売
株 式 会 社 明 治 関 東 支 社	042-540-7322	志 村 有 希 子	栄養食品、乳製品製造、販売
長 谷 川 化 学 工 業 株 式 会 社	047-484-3751	本 田 光 夫	まな板・ほうちょうなどの製造販売
大 陽 食 品 株 式 会 社	055-224-5415	新 津 明	業務用総合食材、老人医療用食材卸
エ コ ラ ボ 株 式 会 社	03-5285-2653	松 野 泰 明	洗浄剤、殺菌剤の製造、販売
伊 那 食 品 工 業 株 式 会 社	0265-78-1121	平 澤 潔	寒天及び介護食用寒天製品・家庭用食料品（デ ザート等）製造・販売
ト オ カ ツ フ ー ズ 株 式 会 社	045-564-5741	森 田 道 昌	弁当・おにぎり・サンドイッチ・惣菜・麺類な どの調理済食品及び冷凍弁当・冷凍惣菜などの 製造販売宅配

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
株 式 会 社 コ ー ゲ ツ	055-268-5674	山 梨 営 業 所 加 藤 所 良	冷凍食品・食材関連品の卸販売業務
生活協同組合パルシステム山梨	055-243-6327	小 沢 浩 二	食品・家庭用品等の販売
ホシザキ東京株式会社山梨支店	055-237-7126	坂 元 誠 治	業務用厨房機器の販売及びアフターサービス
サ ン ワ フ ー ズ 株 式 会 社	0550-83-1122	荻 野 守 人	病院・老健施設給食、社員食堂・レストラン等
有 限 会 社 糧 と く	011-382-2248	細 川 直 樹	米（給食用）の精米・販売
味 の 素 (株) 東 京 支 社 甲 府 出 張 所	055-268-1255	岡 山 幹 信	家庭用・外食用の調味料、加工食品の販売
ライオンハイジーン株式会社	03-5819-6667	桑 原 千 明	業務用洗剤、除菌剤の製造販売 総合衛生管理提案・診断・講習の実施
日清オイリオグループ株式会社	03-3206-5298	平 尾 健 志	食用油、病院・高齢者施設向け食品の販売
(株) ふ 久 助 フ ー ド サ ー ビ ス	055-222-1357	深 澤 幹 明	福祉施設等における給食事業
アポットジャパン株式会社	0120-964-930	苗 村 健 二	栄養剤の製造販売
株 式 会 社 日 本 医 療 企 画	03-3256-2885	小 林 颯 太 郎	雑誌、書籍の発行・販売、セミナー運営
株 式 会 社 ナ リ コ マ エ ン タ ー プ ラ イ ズ	0562-77-9811	白 塚 宏 治	医療・福祉関連施設向けの食事の研究・開発・ 製造・販売
株式会社シニアライフクリエイト	03- 5427- 3981	光 本 忠	高齢者向けのお弁当配食・安否確認





事務局からのご案内



1. 会費納入について

- ◎毎年の会費の納入は自動引落でお願いします。(毎年4月10日に引落します)
令和2年度の会費を自動引落で納入する場合は、2月末までに山梨中央銀行または郵便局で手続きをお願いします。
手続きには、通帳と印鑑が必要です。
振替指定口座(中銀)または払込先(ゆうちょ)は、下記の会費振込先のそれぞれの口座です。

☆山梨中央銀行の振替指定口座

山梨中央銀行甲府駅前支店 (普通) 287296
公益社団法人 山梨県栄養士会

引落手数料 108 円

☆ゆうちょ銀行の払込先口座

口座 10890 - 11752671
公益社団法人 山梨県栄養士会

引落手数料 54 円

◎令和2年度 年会費の納入のお願い

自動引落の手続きをとられていない会員は、令和2年3月31日(土)までに以下の口座に納入をお願いします。
納入先は上記、山梨中央銀行又は、ゆうちょ銀行の払込先口座をお願いします。



手数料 山梨中央銀行 (ATM) (窓口扱)

山梨中央銀行甲府駅前支店からの場合	110 円	220 円
山梨中央銀行本店・他支店からの場合	220 円	330 円

ゆうちょ銀行

通帳から振替(窓口扱)	146 円
通帳から振替(ATM扱)	無 料
現金を窓口で払込	550 円

会 費

日本栄養士会費 6,500 円
山梨県栄養士会費 7,500 円
連盟会費 2,000 円

(※会費の領収書は通帳記載、コンビニ払込受領証等により代えさせて頂いておりますが、必要な場合は、事務局までご連絡下さい。)

3. 会員登録事項の変更は早めにご連絡を!!

- ・住所が変わった時・・・
- ・勤務先が変わった時・・・
- ・結婚等で姓が変わった時・・・
- ・県外に引っ越しの時 → <転出届>
- ・退会の時 → <退会届>

2. 会員証を紛失したら?

紛失の場合は有料(1,000円)にて再発行となります。再発行申請は「日本栄養士会ホームページ」、「お問い合わせ欄」内の「会員証の再交付について」をご確認下さい。

☆これらの変更があった時は、必ず、県栄養士会へ連絡をいただくか、「会員WEBサービス」(P7参照)にてご自身で会員データの変更をお願いいたします!

4. 事務局の年末・年始について

令和1年12月28日(土)～令和2年1月5日(日)までお休みとなります。



◎編集委員

秋山知子、土橋さく江、千頭和功、
山田祐美子、鈴木耕太、天野江津子、
望月あゆみ、細井洋子、井上さなえ



編 集 後 記

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします!!

本年は東京オリンピック開催の年!!良い競技をするためにも食事は基本です。その食事のプロである私たちも選手に負けず日々自己研鑽をし、努力を重ね、輝く年にしていきましょう。

(編集委員一同)

栄養やまなしNo.110 令和2年1月1日

発行所 公益社団法人山梨県栄養士会

〒400-0805 甲府市酒折1丁目1-11 日星ビル4階

TEL/FAX 055-222-8593

ホームページアドレス <http://www.eiyouyamanashi.com/>

メールアドレス yamaei@sky.plala.or.jp

印刷所 (株)オズプリンティング